

(答申書様式)

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 保健体育

番号	発行略称	教科書番号
観点	東書(東京書籍)	701
取扱内容 学習指導要領 各教科の総則 各及び 学年の 目標・ 内容等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none">・「健康な生活と疾病の予防」については、自身のこれまでの心身の機能の発達や疾病について振り返ったり、運動、食事、休養、睡眠のバランスについて考えたりすることで、心身の機能の発達と心の健康についての理解を深める。・「心身の機能の発達と心の健康」については、サイトで知り合った男性に自身の住所や画像を送ってしまったなど、思春期に起こる現代社会での課題を通し、異性や性情報との関わりについての理解を深める。・「傷害の防止」については、日常生活で発生する事故を人的要因と環境要因について考えたり、犯罪被害や自然災害による危険についての話し合い活動などで予測や回避の方法について理解を深める。・「健康と環境」については、2009年夏に北海道で起きた「トムラウシ山遭難事故」を題材に熱中症や低体温症を学習させるなど、身近な出来事を題材に、健康を守る社会や個人の取組の学習を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める。 <p>○ 体育分野については、運動やスポーツへの多様な関わり方を、「すること」「見ること」「支えること」「知ること」の4つの視点で捉えて学習したり、運動やスポーツの効果を「体への効果」「心への効果」「社会性への効果」に分けて考えたりする活動で、運動やスポーツの多様な楽しみ方や意義について理解するとともに、ラグビー・ワールドカップでの日本代表チームの活躍やバドミントン混合ダブルス、コーフボールなどを取り上げ、人々を結びつける文化的な意義についても理解する。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none">・保健分野については、キーワードから課題を発見し、見通しを持たせるとともに、学習したことを基にした発表や話し合い活動で、自分の考えを広げたり深めたりする工夫がある。・体育分野については、運動やスポーツの特性を知り、他者のスポーツへの価値観に触れながら、自分を見つめ直すなど、系統的・発展的に学習できる工夫がある。	
内容の構成・ 排列・ 分量等	<p>○ 内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none">・この教科書の使い方として、「見つける」で課題を確認し、「課題の解決」で資料等を基に知識・技能を習得し深め、「広げる」で学習したことを自分の生活に当てはめたり、更に調べ学習を進めたりする工夫がされている。・学習の最後に「読みもの」や「活用する」で更に知識を深めるための資料や学習活動を促す工夫がされている。・学習する学年毎に、「保健編」が先で「体育編」が後に排列されている。 <p>○ 内容の分量について</p> <ul style="list-style-type: none">・保健分野 : 136ページで全体の71%・体育分野 : 37ページで全体の20%・総ページ数 : 191ページで前回より10%増	
使用上の 配慮等	<p>○ 巻頭に「学校生活や地域活動」「社会全体での取り組み」を示し、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力の育成の工夫がされている。</p> <p>○ 課題の解決についてヒントとしてわかりやすく図解し、考えを深め主体的に学習に取り組むことができる工夫がある。</p>	
その他	<p>○ D マーク (QR コード) を配置し、関連する学習内容がインターネットを利用して学習できるように工夫されている。</p>	

(答申書様式)

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 保健体育

番号	発行略称	教科書番号
観点	大日本(大日本図書)	702
取扱内容 学習指導要領 各領科 総則 各及 学び 年の 目標 ・ 内容 等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none">・「健康な生活と疾病の予防」については、「健康づくりのための身体活動量の目安」や「健康に生活するための調和のとれた生活」で日常生活と結びついた資料から学習を深め、心と体の健康についての理解を深める。・「心身の機能の発達と心の健康」については、自分の体がどのように発育・発達していくか予想したり、思春期の心の変化について話し合ったりしながら、心と体の関わりとその発達についての理解を深める。・「傷害の防止」については、地域で起こりやすい自然災害に対する備えや自然災害が発生した場合の行動について調べたり、傷病者を発見した時の行動について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。・「健康と環境」については、教室の快適な条件や照度、浄水場などの施設の仕組みなど日常の生活場面を意識して学習し、環境保全と健康との関わりについての理解を深める。 <p>○ 体育分野については、「健康や体力の維持・向上」「競争する」「自然と親しむ」「仲間と交流する」「感情を表現する」について、「生涯にわたって」と「学習の場面で」の2つの視点から学習し、運動やスポーツの必要性和楽しさを理解させるなどの工夫が見られる。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられるなどの工夫が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none">・保健分野については、「話し合ってみよう」や「やってみよう」で話し合い活動や考えをまとめる活動を促し、自分の考えを広げたり深めたりする工夫がある。・体育分野については、「リンク」で学習内容と保健編で学んだ内容との関連が示され、体育分野と保健分野との系統的な学習が深められる工夫がある。	
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none">・単元毎に「学習のねらい」で課題を示し、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」で、学習活動を示し、「活用して深めよう」で学習の定着を図っている。・単元の終わりに、「章末資料」を示し理解を広げ、「学びを活かそう」でより深く理解するための課題を示し、「章の学習のまとめ」で、学習内容の整理に役立つ言葉の解説がある。 <p>○ 内容の分量について</p> <ul style="list-style-type: none">・保健分野 : 123ページで全体の73%・体育分野 : 40ページで全体の23%・総ページ数 : 171ページで前回より8%増	
使用上の配慮等	<p>○ 巻頭で、「生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する」体育編と「生涯にわたって健康を保持する」保健編を図で示すなど、子どもたちの学習意欲を高める工夫がある。</p> <p>○ 保健体育の学び方として、「ブレインストーミング」「実験」「ロールプレイング」「実習」「フィールドワーク」「インターネット・図書・視聴覚教材の活用」について示されている。</p> <p>○ ページの欄外にミニ知識として関係用語の説明がある。</p>	
その他	<p>○ 「心肺蘇生法」など多くの図解が必要な部分では2つ折りを採用するなどの工夫がされている。</p> <p>○ 「WEB マーク」を配置し、関連する学習内容がウェブサイトを利用して学習できるように、工夫されている。</p>	

(答申書様式)

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 保健体育

番号	発行略称	教科書番号
観点	大修館(大修館書店)	703
取扱内容 学習指導要領 各教科の 総則 各及び 学年の 目標 内容等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none">・「健康な生活と疾病の予防」については、運動と消費エネルギーとの関係や食習慣の在り方など図解を交えて学習し、順序だてた話し合いや書き出す活動から、心と体のかかわりについての理解を深める。・「心身の機能の発達と心の健康」については、個人差があることや、感動体験、感情の共有、達成感や充実感の仲間との共有などで自信をもたらす、情意機能が発達することなど、人や社会との豊かなかかわりが大切であることへの理解を深める。・「傷害の防止」については、交通事故の背景や犯罪の危険など資料も活用しながら学習し、日常的な事件事故の予防や応急手当、自然災害への対応などの理解を深める。・「健康と環境」については、コラムや事例等で、癌やアルコール依存症の体験談を掲載し生活習慣病の学習を深めたり、スモッグや花粉、PM 2.5や熱中症など、現代社会で身近な問題となっていることを題材とし、実状に合った健康の保持増進の在り方の理解を深める。 <p>○ 体育分野については、「ゆるスポーツ」「超人スポーツ」など、新しい視点で運動やスポーツに親しむための関わり方や楽しみ方や、運動と脳や心との関係やオスグッド・野球肘などの具体例でスポーツ障害にも触れ、スポーツの危険やその対策についても理解を深めることができる特色がある。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている特色がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・保健分野については、「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」で課題と見通しを持たせ、「高校で学習すること」で振り返りや考えを広げたり深めたりする構成となっている。・体育分野については、種目特有の技術や戦術に触れ、話し合い活動を促す工夫がある。また、服装、施設、用具の点検例や水分補給や仲間への安全への配慮の例などで、安全に運動に親しむ態度を養う構成となっている。	
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none">・「課題をつかむ」で身近な題材から「何を学ぶか」を感じさせ、「きょうの学習」で学ぶことを確認し、「学習のまとめ」で振り返りを行い学習内容の定着を図っている。・本文に「資料①」や「コラム」などが示されており、系統的・発展的に学習できる工夫がされている。・見出しの他に5～6行ごとに小見出しを設け簡潔な文章で図解を多くし、わかりやすく読み取れる工夫がされている。・巻末に用語解説があり、用語だけを学習することができる。 <p>○ 内容の分量について</p> <ul style="list-style-type: none">・保健分野 : 132ページで全体の72%・体育分野 : 40ページで全体の23%・総ページ数 : 183ページで前回より11%増	
使用上の配慮等	<p>○ 「この教科書の使い方」「保健体育の学び方」として「どのように学ぶか」が示されている。</p> <p>○ 「学校生活を健康という視点から見よう」など、子どもたちが身近に感じる工夫がされている。</p> <p>○ 口絵にダウン症で書家である「金澤翔子」さんを採用するなど、随所に障害者について取り上げ、「共に生きる」というテーマを感じさせる構成になっている。</p>	
その他	<p>○ 口絵3に「高木美帆」を採用し、十勝出身者を題材にスポーツに親しむ大切さを示している。</p> <p>○ 欄外に「WEB 保体情報館」「ほり下げる」として、ウェブサイトから参考となる情報が調べられる工夫や本文中に出てくることばなどを詳しく解説している。</p>	

(答申書様式)

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 保健体育

番号	発行略称	教科書番号
観点	学研(学研教育みらい)	704
取扱内容 学習指導要領 各領教の科総 ・則各及 学び年 の目 標 ・ 内容 等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none">・「健康な生活と疾病の予防」については、チェック表で1週間の生活を確認し、よい点や改善点について考えたり、「たばこ・酒の宣伝・広告をどう見るか」「誘われたときにどうするか」で体験談から課題を発見し、その解決に向けて思考・判断し病気の予防についての理解を深める。・「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期のダイエットが体の器官に及ぼす影響について調べたり、「カウンセリングルーム」を設け、多くの思春期のこどもたちが抱える悩みを題材にして興味関心を引き出す工夫がされている。・「傷害の防止」については、緊急地震速報が出されたときの行動について話し合ったり、「ポイントチェックシート」を基に心肺蘇生法の流れについて実習したりする活動を通して、危険の予測やその回避の方法についての理解を深める。・「健康と環境」については、事例を基に体の適応能力の限界について話し合ったり、大気や水の汚染を防ぐための工夫や方策について学習し、環境問題と健康との関わりについての理解を深める。 <p>○ 体育分野については、スポーツの効果的な学び方を、目標や計画を修正しながら練習する「技能」、練習の場面や方法を工夫する「技術」、予測や判断の力を高める「戦術・作戦」、リズムの特徴を捉えて練習する「表現」に分けて学習するなど、運動やスポーツの安全な行い方や人々を結びつけるスポーツの文化的な働きについての理解を深めるなどの特徴がある。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられているところに特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・保健分野については、生活習慣病でメタボリックシンドロームを題材にするなど、時代背景や時代のニーズに適応した内容を多く取り上げ、自分に適した健康のあり方について考える構成となっている。・体育分野については、オリンピックの3つの価値と、パラリンピックの4つの価値との比較で、今後のスポーツの在り方を学習するなど、今日的なスポーツの意義や役割について考えを広げたり深めたりする構成となっている。	
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none">・「学習の目標」「課題をつかむ」で「何を学ぶか」を感じさせ、「考える・調べる」で学習した知識や情報を基に話し合ったりし、「まとめる・深める」で学習内容の定着を図っている。・単元の終わりに「探求しようよ」「章のまとめ」があり、学習した内容の定着を図っている。・本文に「資料」や「情報サプリ」などがあり、理解を深める工夫がされている。・北海道とかかわりのある内容を9ページと多く取り上げている。 <p>○ 内容の分量について</p> <ul style="list-style-type: none">・保健分野 : 132ページで全体の66%・体育分野 : 38ページで全体の19%・総ページ数 : 200ページで前回より12%増	
使用上の配慮等	<p>○ 「この教科書の使い方」「さまざまな学習方法」として「どのように学ぶか」が示されている。</p> <p>○ スポーツで世界を一つにをテーマに、「夢」「友情」「楽しさ」「喜び」「成長」「継承」「責任」「たくましさ」「挑戦」というようにテーマごとの口絵を採用している。また、チャイルドラインやヤングテレホンなど、悩み相談窓口の紹介もしている。</p>	
その他	<p>○ 口絵3で、思春期の悩みを相談できる各種相談窓口を紹介している。</p> <p>○ 「教科書サイト」マークを配置し、関連する学習内容がインターネットを利用して学習できるように工夫されている。</p>	